

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓

活動団体名：箕川未来協議会

活動地域：滋賀県東近江市箕川町

活動におけるテーマ

『箕川町再興～人間らしい感動を味わえる里』

活動団体および活動地域の紹介

【名称】 箕川未来協議会 【設立】 2021年2月 【活動地域】 滋賀県東近江市箕川町

【目的】 本協議会は、地域にひとときの住人として滞在しながら、山の暮らしや文化を体験できる郷として箕川町を再生し、若者の地方回帰の促進、林業の振興などを通じて、未来につながる豊かな地域づくりを推進することを目的として設置する。



活動メンバー



山の暮らしの文化体験



立ち上げのきっかけになった視察



事業予定エリア

活動団体および活動地域の紹介



広域で見た東近江市の立地



山に囲まれた箕川町集落の立地

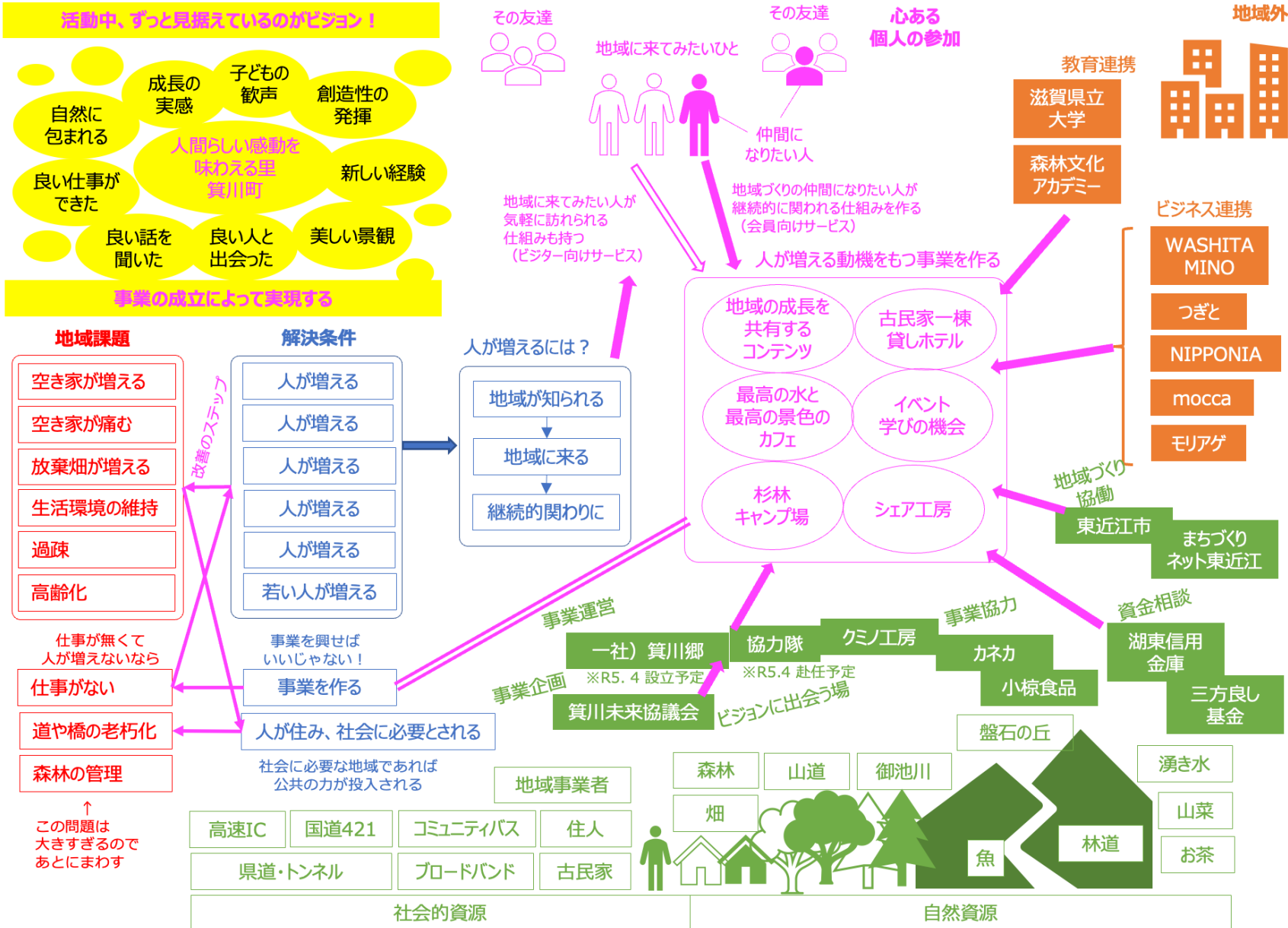


東近江市は分水嶺から湖まで一つの自治体がカバーしている



箕川町集落の霧囲気

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフミーティング		中間共有会	ステークホルダミーティング						全国成果共有会
実施したこと	観光事業づくり	[事業準備] 古民家片付け		[行政連携事業] 森里川湖3 DAYキャンプ	[行事継承] おさかなまつり		[環境整備] 盤石の丘整備			[文化体験] 味噌作り		
	人材募集						法人設立に向けたミーティング					
	ネットワークづくり				滋賀県立大		地域おこし協力隊員募集の着任に向けた活動				★決まり!!	
							森林文化アカデミー WASHITA MINO		つぎと		mocca モリアゲ	



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフミーティング		中間共有会	ステークホルダミーティング						全国成果共有会
実施したこと	観光事業づくり	[事業準備] 古民家片付け		[行政連携事業] 森里川湖3DAYキャンプ	[行事継承] おさかなまつり		[環境整備] 盤石の丘整備			[文化体験] 味噌作り		
	人材募集						法人設立に向けたミーティング					
	ネットワークづくり						地域おこし協力隊員募集の着任に向けた活動				★決まり!!	
					滋賀県立大			森林文化アカデミー WASHITA MINO		つぎと	mocca モリアゲ	

観光事業づくり

- 最初に整備予定の古民家へのアプローチ。片付けをしながら事業化をイメージする。
- 行政からのオファーで、地域の環境をデイキャンプに提供。地域外の人にとっての価値を知る。
- コロナ前まで地域で行われていた行事が今年も中止になったので、継承するつもりで同事業を実施。
- 集落から歩いて1時間位のハイキングコースが想定できる「盤石の丘」と呼ばれる見晴らしの良い丘を整備。
- 生活文化が体験できるコンテンツとして味噌作りを実施。

気づき

- 為せば成る。継続は力なり。
- 古民家の片付けや盤石の丘の整備をしていたときに、地域出身の方から出た声。「やらんとあかんと思ってたけど、なかなかできなかった。こういう機会を作ってくれてよかった。」その地域の価値を引き出すような事に気づいたら、気づいた人が、勇気を出して、一歩進めばよいのだ。
- 事務局をしている井上の本業が忙しくなってきて、並列で進めることの難しさ
- 地域おこし協力隊が来なければ、この先には進めないぞ！（切実な危機感）

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

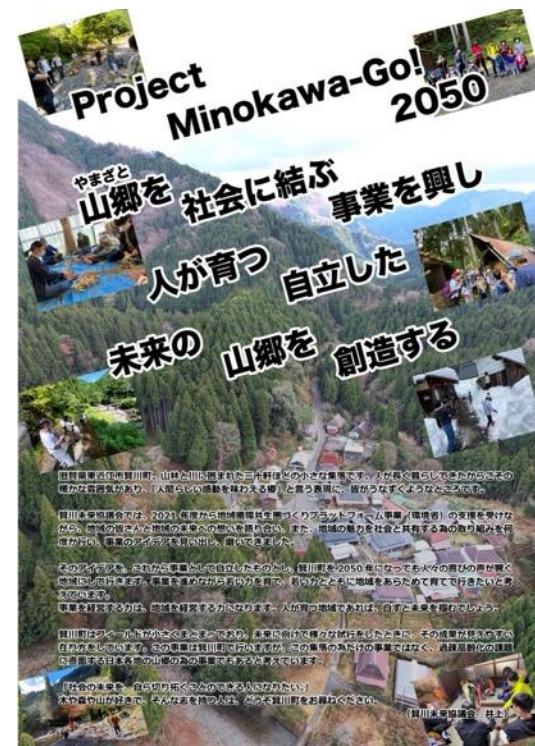
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフ ミーティング		中間共有会	ステークホルダ ミーティング						全国 成果共有会
実施したこと	観光事業づくり	[事業準備] 古民家片付け		[行政連携事業] 森里川湖3 DAYキャンプ	[行事継承] おさかなまつり			[環境整備] 盤石の丘整備		[文化体験] 味噌作り		
	人材募集									法人設立に向けたミーティング		
	ネットワークづくり											★決まり!!
					滋賀県立大						つぎと	mocca モリアゲ
								森林文化アカデミー WASHITA MINO				

人材募集

- 行政へのアプローチ。
- 協力隊員が赴任した後の事業計画の策定。
- 呼びかけ文、募集チラシの作成。
- 募集活動。
- 応募者への対応。

気づき

- 自分たちが実現したいことの旗を掲げるつもりで、文章を考え募集チラシを作った。メッセージが難しいせいか、問い合わせは少なかった。そこに込められた暗号のようなもの乗り越えてくる人に出会いたかった。結果、最高の人材が応募してきてくれた。
- 問い合わせが多いこと、わかりやすこと、いいね、が多いことよりも大事なことがある。



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフ ミーティング		中間共有会	ステークホルダ ミーティング						全国 成果共有会
実施したこと	観光事業づくり	[事業準備] 古民家片付け		[行政連携事業] 森里川湖3 DAYキャンプ	[行事継承] おさかなまつり		[環境整備] 盤石の丘整備			[文化体験] 味噌作り		
	人材募集						法人設立に向けたミーティング					
	ネットワークづくり						地域おこし協力隊員募集の着任に向けた活動				★決まり!!	
					滋賀県立大			森林文化アカデミー WASHITA MINO		つぎと	mocca モリアゲ	

ネットワークづくり

- 新たに滋賀県立大学の教員が活動に参加。来年度、箕川で実習を行うことに。若者と地域をつなぐ。
- 森林文化アカデミーへ協力隊の募集と情報交換に出向く。古民家の整備のことで建築の先生と、山村活用で森林環境教育の先生とつながる。箕川地域での実習の実現を目指す。若者と地域をつなぐ。
- 古民家シェアオフィスを運営する WASHITA MINO へ。シェアオフィス事業や、古民家の宿泊事業の開業に向けて連携の可能性を話し合う。
- 株式会社モリアゲの長野さん、丹波篠山で古民家シェアスペース（mocca）を運営する辻さんに箕川に来てもらい、集落事業のアイデアを話す。具体的な事業連携を目指す。

気づき

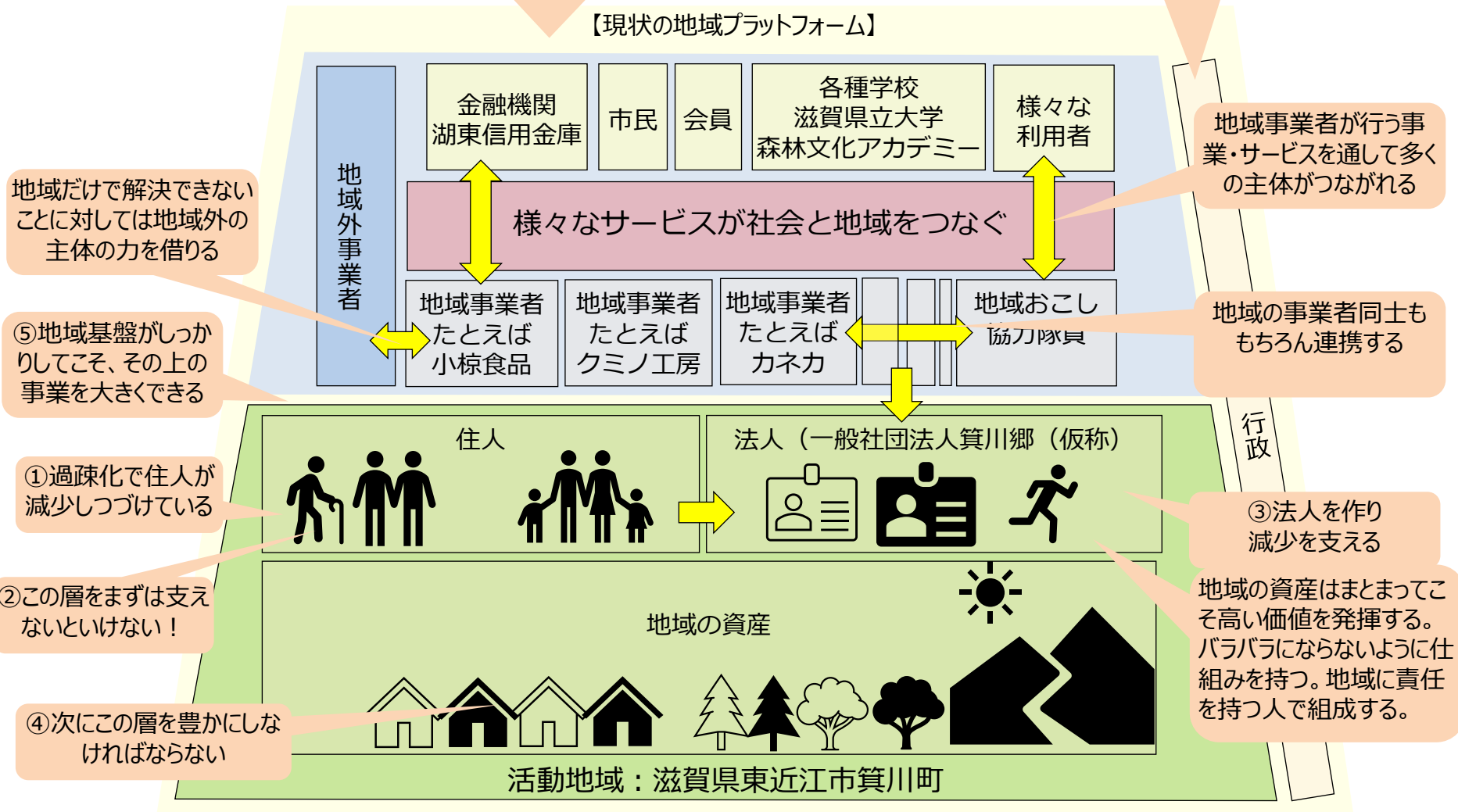
- 箕川の事業（本事業・クミノ工房事業）はかなり尖った事業で、各地の最前線で活躍している人と繋がれるユニークさがある。
- 机上的話だけでなく、考えたことを現実に試行できるフィールドがあるというのは実はすごい。

現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

自立した事業を考え続けて
構造がクリアに見えてきた

さまざまな主体が自立して取り組みを進めようとする時に行政は支えられる

【現状の地域プラットフォーム】



取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

- 実際に活動したことで、自分たちの**現状**をよく捉えることができた。
- **具体的な事業**を行うことを念頭においているので、課題はいつも具体的であった。
- **人がいないと何も進まない**ということを何度も感じ、地域おこし協力隊の要請には力が入った。そして良い人材に出会うことができた。
- 具体的な事業をすすめるには、きちんとした契約が必要。**きちんとした契約**を行う主体としての、**法人設立**の必要性に直面した。
- 法人設立にあたっては、経営陣をより若い世代で組成する必要があると考えた。そして、これまで繋がれなかった**より若い世代**（息子世代）とつながることができた。
- 続けてこれたのは**ビジョン**があるから。そして二年目は一年目より、事業のイメージが**具体性**を帯びてきた。
- これまで箕川で行ってきた事業（協議会事業とクミノ事業）はかなり**尖った事業**で、各地の最前線で仕事をしている人と**繋がれる**ユニークさがあることが実感できた。
- 協力をお願いするだけでなく、こちらから**差し出せるもの**（話題）があり、おかげで様々な主体と繋がり話を広げることができた。
- 事務局のクミノ工房は、この地域を社会に結ぶ事業を起こすことを夢見ながら、ここで約7年事業を続け、ようやく軌道に乗せることができた。だから事業を**続けることの重要性**が身に沁みて分かっている。その間にあった困難や課題で随分成長できたと振り返ることができた。
- この事業も、必ず**困難や課題**に突き当たる。が、それは**成長のタネ**だと思える。
- 多くの人と繋がる中で、この**事業**は、必ず**社会**にとって**意義**あるものとなると確信を深めた。

活動における今後の展望

地域おこし協力隊員が決まったので、具体的な事業に乗り出します。

【1】カフェのオープン

- 当初計画のホテル事業に向けて、少しハードルを下げ、先ずは古民家カフェをオープンする。
- クラウドファンディングで、カフェ改修の資金調達と、地域づくりを一緒に行う仲間の募集を行う。
- タイムスケジュールは、4月・5月に企画、6月・7月にファンディング、8月・9月に改修。10月にオープン。紅葉の季節までのオープンを目指す。
- ホテル事業はその先 2～3年後を見据える。

【2】シェアスペース（キャンプ場・シェア工房）の開発

- 少ない予算で始められる事業としてキャンプ場の開発を行う。
- 川遊びができる 8月前のプレオープンを目指す。
- すでに揃ったリソースで始められる事業としてシェア工房の整備を行う。
- クラウドファンディングの支援者はサービスの利用者となるだけでなく、場づくりにも関わられるようにする。

【3】事務局体制の強化

- 物件の工事を始める前に、地域の遊休資産を責任を持って預かるために、一社）箕川郷（仮称）を設立する。
- 具体的な事業の準備と運営は最高のコンテンツ。事業連携の話をしている各主体（mocca, WASHITAMINO, モリアゲ, 大学・アカデミー etc.）と、事業を立ち上げながら人・モノ・サービス・資金の連携を行う。
- 箕川未来協議会の事務局体制を強化し、パワー不足で声をかけられていなかった主体に改めて声をかけ地域づくりの和を広げる。